



10業種 26社の事例でわかる！

エンドポイントマネージャー クラウド版 活用・導入効果

PC・スマホ・タブレットの一元管理をクラウドで実現
「使いやすい」管理コンソールで、充実の「IT 資産管理機能」と「MDM 機能」を実装

IT review 顧客評価No.1※

使いやすい管理コンソール

充実の PC 管理

操作ログ・セキュリティ

PC 管理に必要な機能を網羅

Apple・Google の認定プログラム対応

充実の「モバイル管理」



社名公開 導入事例 一覧

横浜トヨペット株式会社 様
ファストドクター株式会社 様
株式会社ユーグレナ 様
株式会社東京カンテイ 様
平成医療福祉グループ 様
株式会社スマートエナジー 様
岡山市役所 様
学校法人 清風学園 様
株式会社インブルーミー 様

モバイル端末の業務活用に MDM を刷新 端末管理とセキュリティ対策を強化

IT ツールを活用し進化するというミッションの元、業務利用として支給した約1,000台のモバイルデバイス管理に MDM が必要でした。

盗難紛失対策、アプリケーション管理などの資産管理に加え、位置情報や操作ログの取得機能などが備わっているなどのカバー範囲が広い所に魅力を感じ、導入を決めました。

— 故障時の対応の迅速化。分かりやすさで現場からの問い合わせ無し

運用面でのメリットとして、端末の故障時の対応がスピーディに行えるようになった点が挙げられます。端末を取り替える場合は、前のアカウントを消し、新しい端末にアカウントを設定しますが、エンドポイントマネージャーの設定は簡単なので、空の端末を送り、マニュアルを配布して、利用者側でエンドポイントマネージャーの設定や他の業務アプリの導入を行ってもらっています。

— デバイスの利用状況の可視化によりコスト対策にも活用

これまで把握できなかったアプリも可視化することができ、業務と関係ないアプリを入れているデバイスを発見・管理しやすくなりました。

また携帯代金のコスト最適化にも期待できると思います。通話の利用状況を把握することで通話料に適したプランの見直しなど、端末の有用性も可視化する事ができています。



サービス

会社規模 1000~4999名

デバイス数 1,040台

管理 OS iOS

多様な雇用形態、働き方の社員の業務端末を管理 セキュアには環境に整備にエンドポイントマネージャーが貢献

従業員が利用する業務端末にはアンチウイルスソフトは導入されているものの、「誰が、どの端末を、どのように利用しているか」といった端末管理については、手作業で行っている状態でした。

管理ツールの製品選定は、複数製品を比較検討する形で行いました。選定時のポイントは、「価格面でのコストパフォーマンスと、対象となる OS の種類の広さ」でした。

— OS のカバー領域の広さとコストパフォーマンスの高さが決め手

管理ツールの製品選定は複数製品を比較検討する形で行いました。業務に応じて、複数の OS の端末を利用しており、エンドポイントマネージャー クラウド版は、Windows だけでなく、macOS や iOS・Android も、単一の管理コンソールで一元管理できる点が、決め手の一つとなりました。

また、管理サーバーを立てる運用ではなく、クラウドで利用できる点も魅力でした。

— 今まで見えなかった端末管理が可視化され、安心して利用できるようになった

「これまで見えなかった端末の状態、稼働がモニタリングできるようになったこと」が一番の効果。端末のOSの種類や、誰がどの端末を利用しているかといった稼働状況が可視化できることが、セキュリティが高い状態で端末を安心して利用できる第一歩となっています。



医療・福祉

会社規模 300～499名

デバイス数 410台

管理 OS iOS・Android Windows・macOS

オンプレミス型のIT資産管理ツールからクラウド型へ移行 デバイス管理とサーバー運用負荷を軽減

2018年からオンプレミス型のIT資産管理ツールを導入していたが、業務環境の変化により PC 操作ログのリアルタイム取得が困難になったことや、サーバーメンテナンス工数に課題を感じていた。リアルタイムにログが取得でき、機能の充実や使いやすさに加え、PC・スマホの一元管理が可能であることがエンドポイントマネージャー導入の決め手でした。

ー 体験版を利用して使いやすさを実感。決め手は PC・スマホの一元管理

エンドポイントマネージャー導入前に、60日間無料体験版を利用し、従来のオンプレミス型のIT資産管理ツールでできていることが可能かという点と、管理コンソールの使い勝手について検証を行い、直観的に操作できることが確認できました。また、PC 管理の機能充実している点に加えて、スマホも併せて管理できる点が大きな魅力でした。

ー IT 資産の状況が可視化できたことで、よりきめ細かな対応が可能になった

オンプレミス型のIT資産管理ツールを運用している際は、リアルタイムでの状況把握が難しかったため、従来の Excel ファイルによるIT資産台帳の作成・運用も継続していました。エンドポイントマネージャーの導入により、リアルタイムかつ正確にIT資産の状況が把握できるようになったことで、Excel ファイルによる手運用を完全に廃止しました。エンドポイントマネージャー導入後は、端末インターネットに接続されていれば常に棚卸しされる状態のため、数日程度で棚卸しは完了し、その精度も高まりました。



その他

会社規模 100～299名

デバイス数 690台

管理 OS Windows

運用負荷の軽減やコンプライアンス強化に エンドポイントマネージャー クラウド版が貢献

これまで利用していた IT 資産管理ツールのサポートが終了することをきっかけに製品の入れ替えを検討。運用の手離れの良さから SaaS 製品であること、機能面ではPC の操作ログ取得機能が欠かすことができない要件だった。導入時のインストール手順の簡単さ、管理コンソールの使い勝手や機能面・コスト面の優位性が決め手となり導入。

— 管理ツールの入れ替えを機に得られた導入メリット

従来の IT 資産管理ツールで実現できていた機能が実装され、かつ簡単なインストール手順で管理ツールの入換作業ができること、管理コンソールの直感的な操作性、従来の IT 資産管理ツールではできていなかった Windows のビルド番号の可視化やエージェントのアップデート自動化といった付加価値が導入の決め手となった。

— 管理工数の軽減やコンプライアンス強化に貢献

エンドポイントマネージャーのエージェントのアップデートは、インターネットにつながっている PC は自動的にアップデートが適用される。以前は、半年に1回、計画的に適用を実施していたが、これが無くなったことにより、運用負荷を大きく削減できた。エンドポイントマネージャーでは、定期的にログデータを抽出して別メディアにコピーして保存することが可能になり、コンプライアンス上の対応がより確実になった。



全国1000台超の Windows PC やスマートデバイスの管理に エンドポイントマネージャー クラウド版を導入 法令対応やキッティング・棚卸作業の省力化を実現

表計算ソフトでのIT資産管理の不正確さ、改正個人情報保護法への対応などに課題を抱え、新たなIT資産管理・MDMツールとして導入した。iPadに加えて Windows 端末も管理できること、さらに Windows 端末の操作ログが取得できる点は、他の IT 資産管理ツールや MDM ツールにはない機能だった。

ー 法令対応、キッティングや棚卸作業の負荷軽減

個人情報保護法をはじめとする法令への対応、iPad のキッティング作業の負荷軽減につながることで、IT 資産の管理・棚卸にかかる管理者の工数が削減できるという要件を満たしつつ、コストパフォーマンスも高かったためエンドポイントマネージャーを選定。端末を初期化せずともエージェントを簡単にインストールでき、IT 資産管理の方法を変更しても、端末を利用中の職員の業務環境に影響が少なかったのもエンドポイントマネージャーを選定した大きな理由だった。

ー シャドーITリスクの軽減効果も

これまではアプリのインストール申請が来たら、1台1台、サポート課のメンバーが端末がある現場に趣き手動で対応していた。しかし、エンドポイントマネージャー導入後は、アプリの一括配信機能を活用することにより、現場に行かなくても遠隔で対応できるようになり、インストールにかかる工数は大幅に削減されたさらにアプリ一括配信機能は、シャドー IT のリスク軽減にも効果があった。職員によるインストールはできないため、セキュリティ上の統制が可能となった。



医療・福祉

会社規模 5000名以上

デバイス数 1,000台

管理 OS iOS・Windows

充実の PC 管理機能とAndroid Enterprise 対応の MDM 機能でPC・スマホを一元管理

PC やスマホを Excel による手作業で管理していたため、組織の急拡大に端末管理が追いつかなくなっていた。端末数が増え、手動ではなく、仕組みでカバーする必要があった。PC やスマホなどの端末管理の負荷軽減や情報漏洩対策を目的に導入。

— PC・スマホをクラウドで一元管理できる充実の機能

PC 操作ログが、オンプレミス型の IT 資産管理ツールと比較しても充実していた。さらにAndroid Enterprise を利用してスマホ管理をまとめて行える点を評価して導入。クラウド型のIT資産管理ツールであることに加えて、PC・スマホの両方に対応取得できるログが充実していること、さらには管理コンソールが使いやすくわかりやすい点も選定のポイントだった。

— 利用者情報と端末情報の可視化と PC のセキュリティ強化

これまで Excel で手動管理していた PC・スマホの管理台帳を、エンドポイントマネージャーで管理できるようになったことで、誰が、どのデバイスを利用しているかといった利用者情報と、Windows アップデートの適用状況や OS のサポート終了時期などといった端末情報を紐付けて可視化できるようになった。Windows のアップデートは、エンドポイントマネージャー上のレポートで把握できるため、未適用の社員には連絡して適用を依頼するなどの対応が可能になった。



サービス業

会社規模 100～299名

デバイス数 540台

管理 OS Android ・ Windows

PC や iPad ・ Android タブレットを一元管理 モバイルワークの推進とセキュリティ強化に エンドポイントマネージャー クラウド版が貢献

モバイルワークという新しい取り組みを行うなかで、従来はなかったインターネットに接続して通常業務を行う端末が増加した。選定のポイントはインターネット接続端末のIT資産管理・操作ログ取得・紛失対策ができ、さらにPCとタブレット端末（iOS / Android）の一元管理もできること。

ー モバイルワークの推進とともにセキュリティ強化を検討

製品に求める要件として、インターネット接続端末のIT 資産管理・操作ログ取得・紛失対策ができること、PC とタブレット端末（iOS / Android）の一元管理もできることがあった。エンドポイントマネージャーを選定した決め手について、求めていた主な要件を満たしていた点と、管理コンソールの使いやすさがあった。また、必要としていた機能面に対するコストパフォーマンスの良さも選定のポイントだった。

ー ノートPC・タブレット端末管理の効率化と、紛失対応のフローを確立

所在がさまざまな各端末のアップデート状況が管理コンソールで一覧で確認できるようになったことで、人力でアップデート状況を確認する手間が軽減され、対応時間の大幅な短縮と業務のスピードアップが図られた。万が一の時には速やかに連絡し、エンドポイントマネージャーを利用して位置情報を確認。発見に至らない場合はリモートロック・リモートワイプを実行するといった緊急時の対応フローが確立できた。



官公庁・NPO・団体・協会

会社規模 5000名以上

デバイス数 156台

管理 OS iOS・Android・Windows

校務システムのクラウド化を見据え、ゼロトラスト・セキュリティの実現にエンドポイントマネージャーが貢献

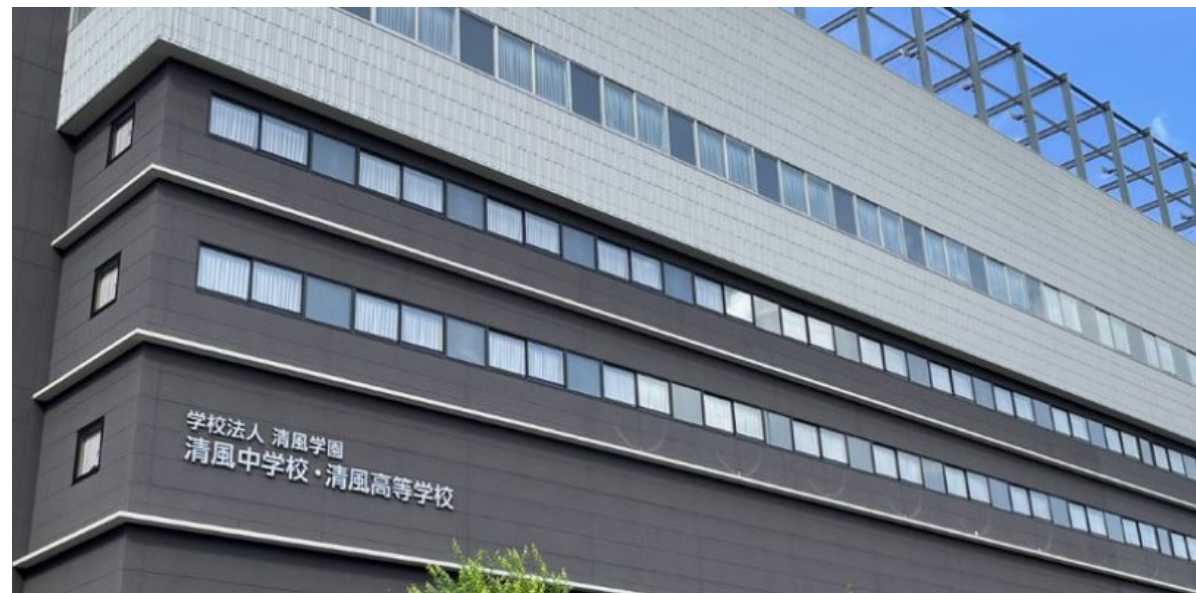
教職員が持ち込む私物PCによるシャドー IT のリスク軽減が課題。教職員が利用するエンドポイント端末に対し、ゼロトラストで1台ごとに USB メモリなどの管理・制御といったポリシー適用を行ったり、アプリのダウンロードなどの操作履歴を確認したりするなど、直感的に操作できると感じた。

ー ゼロトラストの中核を担う機能を1社で提供できる点が決め手

エンドポイントマネージャー クラウド版を選定したポイントは、「クラウド型であること」「MDM、アンチウイルス、そして Web フィルタリングが、一つのメーカーで統合管理できる」という点だ。サポート面では、新しいシステムの導入に IT 担当者のリソースを多く割けない状況が考えられる中、「エムオーテックスには電話でのサポートチャンネルも用意されているため安心できると考えた」。

ー 教職員にセキュリティ向上への意識が生まれてきた

USB メモリの制御やアプリのインストール状況の管理などがしっかりとモニタリングできている。ポリシー変更も柔軟に行うことができ、USB メモリの使用禁止などのように、高く設定したセキュリティレベルを、後から調整する際にも、管理コンソールのインターフェースがわかりやすい。MDM とアンチウイルスがエンドポイント1台1台にインストールされることで、利用する教職員に「学園側はちゃんとモニタリングしている」という意識が生まれた。



学校・教育

会社規模 300～499名

デバイス数 320台

管理 OS Windows

オンプレミス型のIT資産管理ツールからクラウド型の エンドポイントマネージャー クラウド版に移行し サーバーの管理コストや運用負荷を軽減

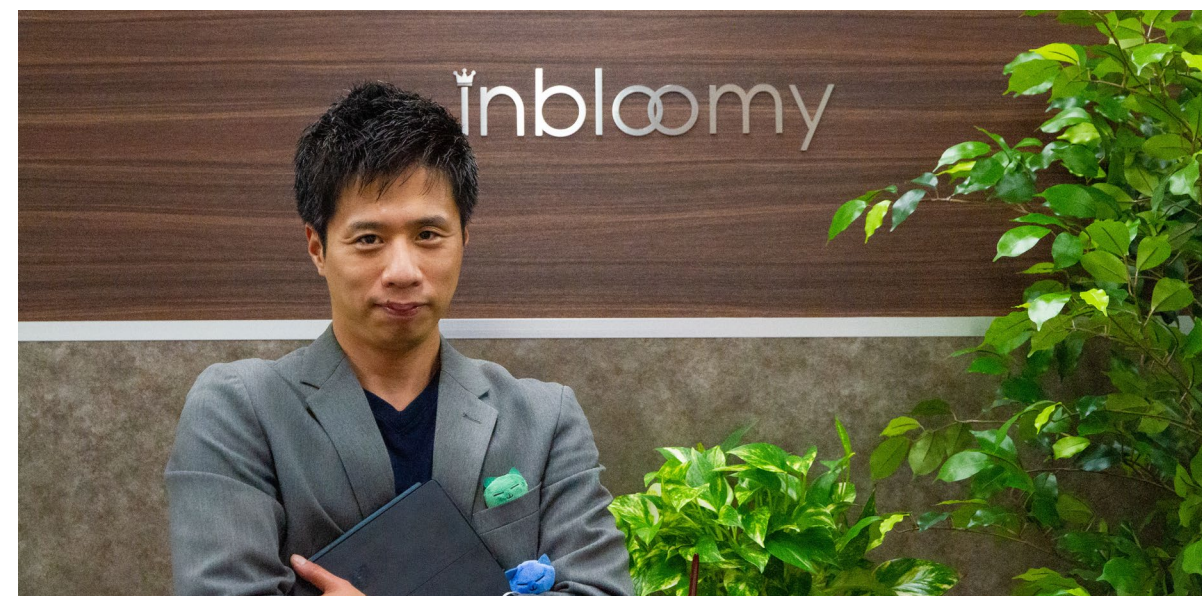
機能面が優れていると感じた。従来利用していたオンプレミス型の IT 資産管理ツールと同等の機能が網羅できること、そして、クラウド型製品のためサーバー管理が不要で、そのコストの課題も解決できることから選定した。

ー サーバーの管理・運用にかかるコスト削減を目的にクラウド型で検討

サーバーの管理やツールのアップデート作業など、IT 資産管理ツールを運用するためのメンテナンスが管理者の負担となっていた。PC 端末の操作ログデータを保存するため将来的にサーバー管理コストが増加する懸念があり、クラウド型の IT 資産管理ツールへの移行を検討。選定ポイントは、アプリの利用や Web サイトの閲覧、ファイル操作、Wi-Fi 接続など、取得できる操作ログの種類が豊富であったこと。

ー サーバー管理費用が不要になりコストは約60%削減

サーバー管理費用が不要となったため、大幅にコストを削減。セキュリティパッチの適用も、エンドポイントマネージャー導入前は動作確認から適用までを管理者である自分が行っていたが、今はエンドポイントマネージャーで配信・適用ができるようになり、作業の効率化につながった。今後は、ノート PC の導入も増加しているので、位置情報の取得機能の利用など、エンドポイントマネージャーを PC 端末紛失時の対応フロー確立に役立てたい。



卸売・小売

会社規模 1～99名

デバイス数 40台

管理 OS Windows

社名非公開 導入事例 一覧

医薬品営業の iPad管理にエンドポイントマネージャーを採用！充実したアプリ管理機能に満足

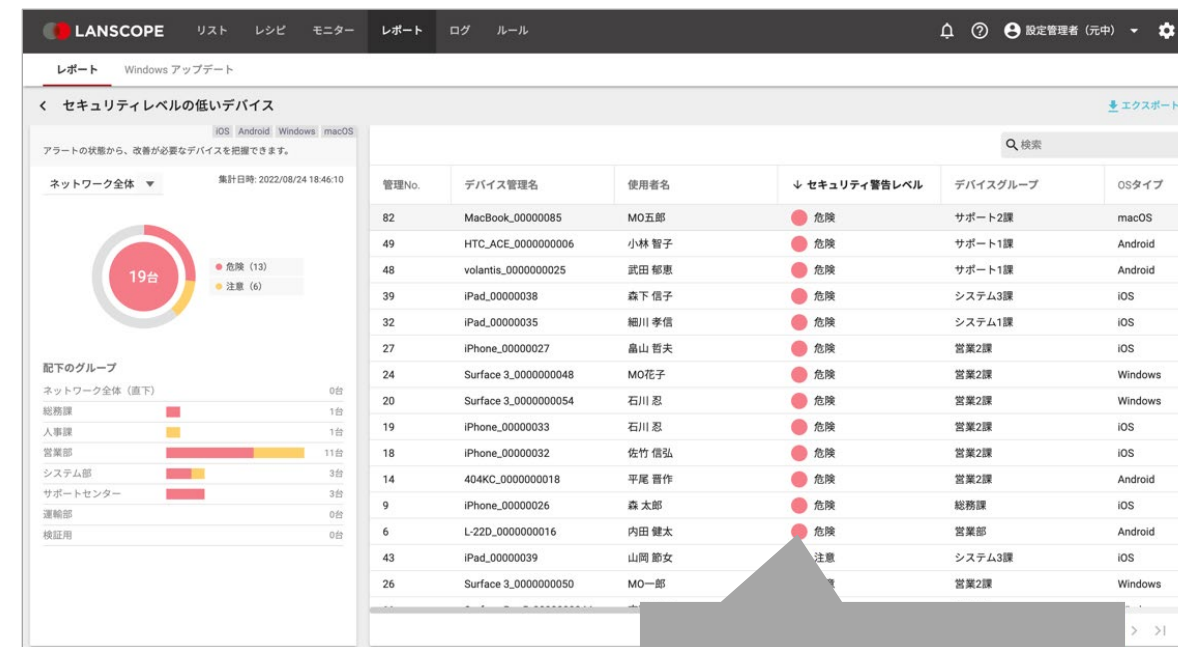
iPadの契約更新にあわせ、MDM製品の再検討を実施。アプリの管理方法に課題があったため、アプリのインストール状況の確認が簡単にできる点など資産管理機能が充実しているエンドポイントマネージャーを採用しました。

－ App Store 禁止ルールを見直し、iPad の利便性が向上

以前は「App Store」を禁止していたが、社員から利便性が落ちるという意見が多かったため、禁止アプリを予め社内通知し自由にインストールできる体制に変更。インストールされているアプリの情報も簡単に把握できるので問題なく運用できています。

－ ルール違反デバイスをアラートメールで確認＋注意

パスワードポリシーや不許可アプリ設定など、予め設定したルールに違反したデバイスの情報が管理者にメールで通知されるので、わざわざ管理コンソールにログインしなくても状況を把握できるので助かっています。



「アラートが発生していれば」メールを通知する機能で、管理工数を削減できます。

デバイス数 40 台

管理 OS iOS

長年利用したオンプレミスの管理ツールから エンドポイントマネージャー クラウド版へ！

長年、PC 管理はオンプレミスの製品を導入し、管理してきました。サーバーのリプレイスに伴い、クラウド化を検討。サーバーの管理工数をなくしたかったので、クラウドサービスのエンドポイントマネージャー クラウド版を採用しました。

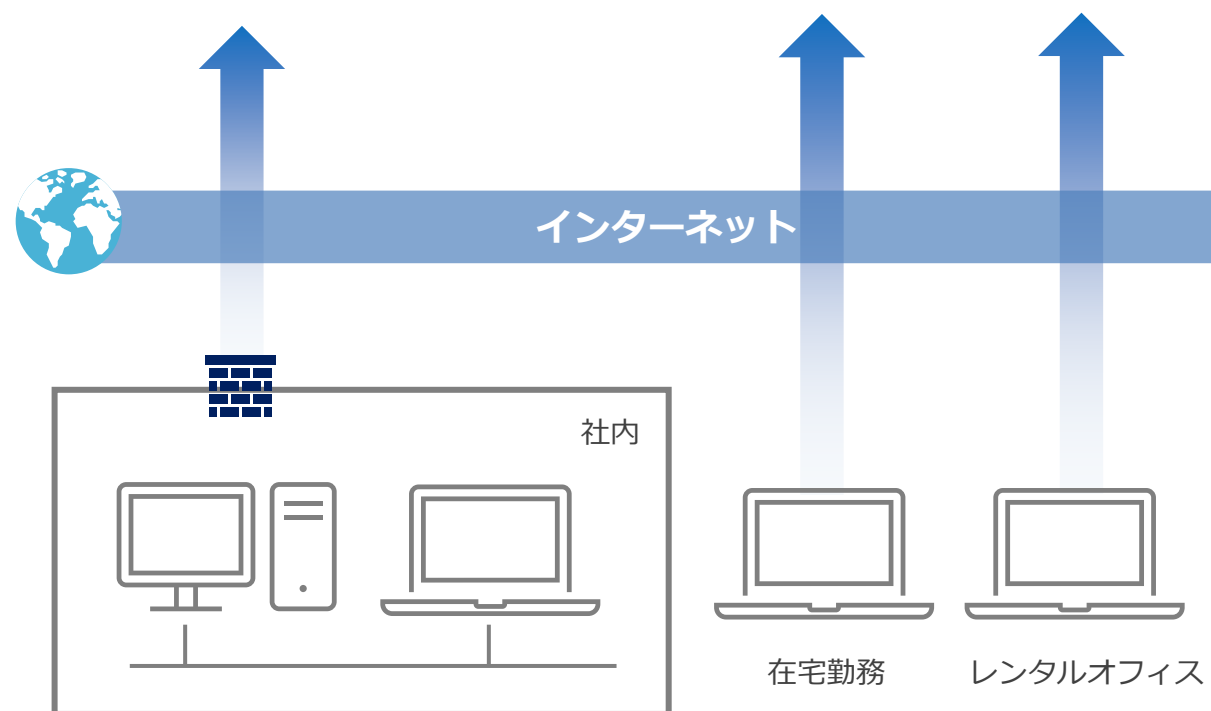
ー テレワークの導入で、インターネットさえ接続されていれば管理が可能

オンプレミスの製品では、テレワーク（在宅勤務）の PC ログを社内 LAN に接続される出社のタイミングでしか送信できず課題でした。なかにはほとんどテレワークを行っているという従業員もいるので、課題に感じていましたが、エンドポイントマネージャークラウド版は PC がインターネットに接続されていればリアルタイムにログが送信されるので、その心配はなくなりました。

デバイス数 500 台

管理 OS Windows

エンドポイントマネージャー クラウド版



新商品や期間限定商品のサイトページの URL を Web クリップで一斉配信

以前に利用していた MDM 製品は操作が複雑だったため管理者が変更になった際に心配でした。エンドポイントマネージャーであれば管理者が変更になった際も業務の引き継ぎが簡単にできるので導入を決めました。

商品サイトの URL を Web クリップで一斉配信

新商品を発売した時には、商品サイトの URL を Web クリップで、管理デバイスに配信しています。配信だけでなく、不要になった Web クリップを遠隔から取り除きできるので、管理者としても助かっています。

Wi-Fi 設定の構成プロファイルを配信設定工数を削減

Web クリップだけでなく、Wi-Fi 設定のプロファイルもデバイスに配信しています。拠点毎の Wi-Fi 設定の構成プロファイルを作成し、エンドポイントマネージャーから管理デバイスに配信しているので、設定の手間を削減でき便利です。

デバイス数 100 台

管理 OS iOS



アプリカタログを有効活用！ 申請制で許可するアプリをカタログに公開！

iPhone の 本格導入に際し、MDMを3製品ほど検討。iOS 管理機能は Apple 社の規格に基づいた機能のため、どの製品も大きな機能差分がなく、最後は管理コンソールのわかりやすさで導入を決めました。

— 使いたいアプリは「申請制」、インストール状況を確認

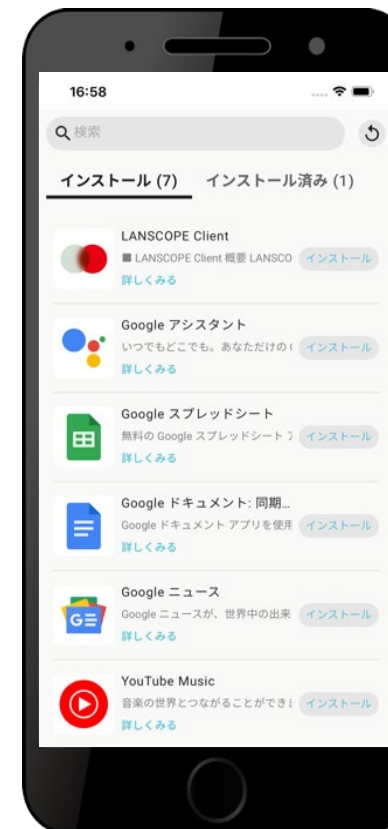
App Store の利用を禁止し、会社で利用を許可しているアプリ以外で使いたいアプリがあれば、申請するルールにしています。申請を受けて、アプリカタログにアプリを公開、利用者が必要に応じてインストールできる運用を行っています。

— 導入後、操作や機能で困った時はサポートセンターを利用

エンドポイントマネージャー導入後、操作や運用方法に困った時は、エムオーテックスのサポートセンターを利用しています。電話で迅速に対応してくれるので、管理者としても心強く、安心して運用することができています。

デバイス数 100 台

管理 OS iOS



利用者が自身のタイミングで、アプリをインストール・アップデートできます。

社員希望のスマホを配布 Android・iOS 混在環境もまとめて管理

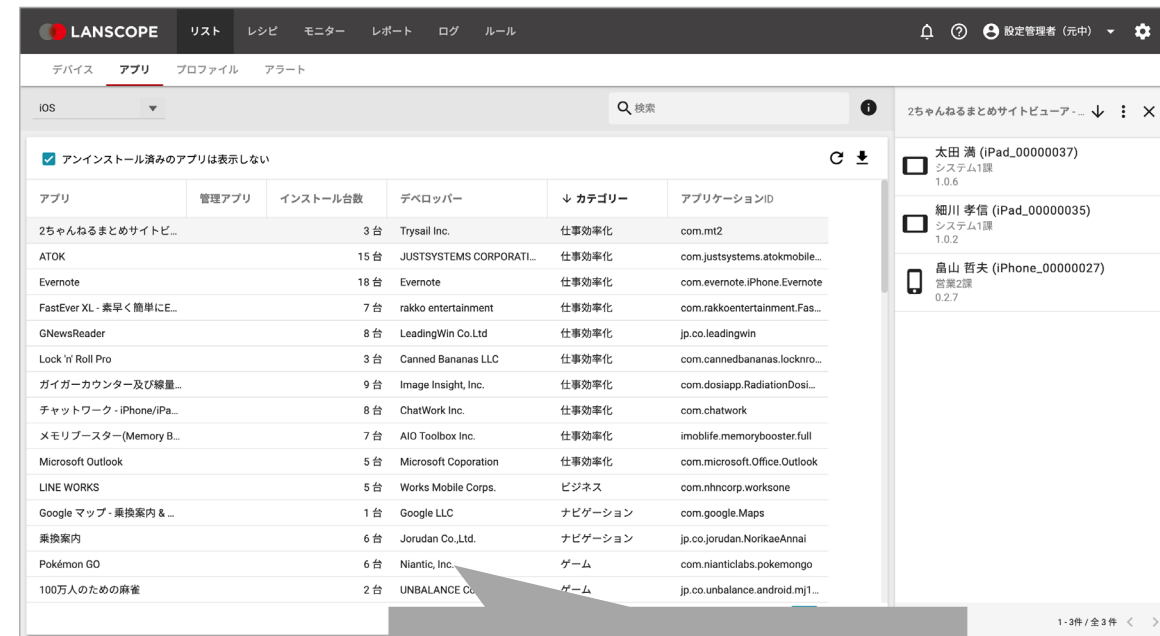
スマホを営業部、管理職、に配布。利用者が希望したデバイスを配布しているためiOS とAndroid が混在していますが、エンドポイントマネージャーならデバイス情報を1画面で確認でき直感的に操作ができると感じ導入を決めました。

— 支社内での置き忘れも位置情報で確認できるから安心

支社に出張に行った社員から紛失報告があった際、エンドポイントマネージャーの位置情報を確認すると支社が表示されていたので検索すると、デスクとデスクの間に落ちているデバイスを発見！初期化する前に発見することができ助かりました。

— 業務外アプリをアラートで検知、社員や上司にメールで注意

業務に不要なアプリをインストールしていないか四半期に1回確認。不許可アプリをインストールしているデバイスを管理画面コンソールで発見した際は、該当社員にメールで連絡し、改善されなければ、上司に連絡するような運用を行っています。



このアプリは、どのデバイスにインストールされているか？
1Clickで確認可能！

デバイス数 70 台

管理 OS iOS・Android

建設現場スタッフにiPad を配布！ パスコード設定等セキュリティルールを適用

建設現場の写真撮影や報告書への入力などに用いるため iPad を現場スタッフに配布。これまでは事務所に帰ってこない画像提出ができなかったが、現場での送信が可能になったため業務効率の UP を実現しています。

ー パスコード忘れの際はリモート操作で簡単解除

文字数や有効期間などパスコードポリシーをエンドポイントマネージャーからデバイスに適用し、セキュリティレベルの統一に取り組んでいます。設定したパスコードをスタッフが忘れた際には遠隔でパスコードロックを実施できるので、便利です。

ー メッセージ・アンケート機能を今後、活用していきたい

現場スタッフへの連絡手段として、メッセージ・アンケート機能の活用を検討中。位置情報を定期的に確認しているので、確認後、簡単な連絡事項や確認をメッセージで送信できればスムーズだと思っています。



デバイス数 67 台

管理 OS iOS

週に1回 iPad の稼働状態をレポートで確認！ 通信 3キャリア混在でも簡単管理

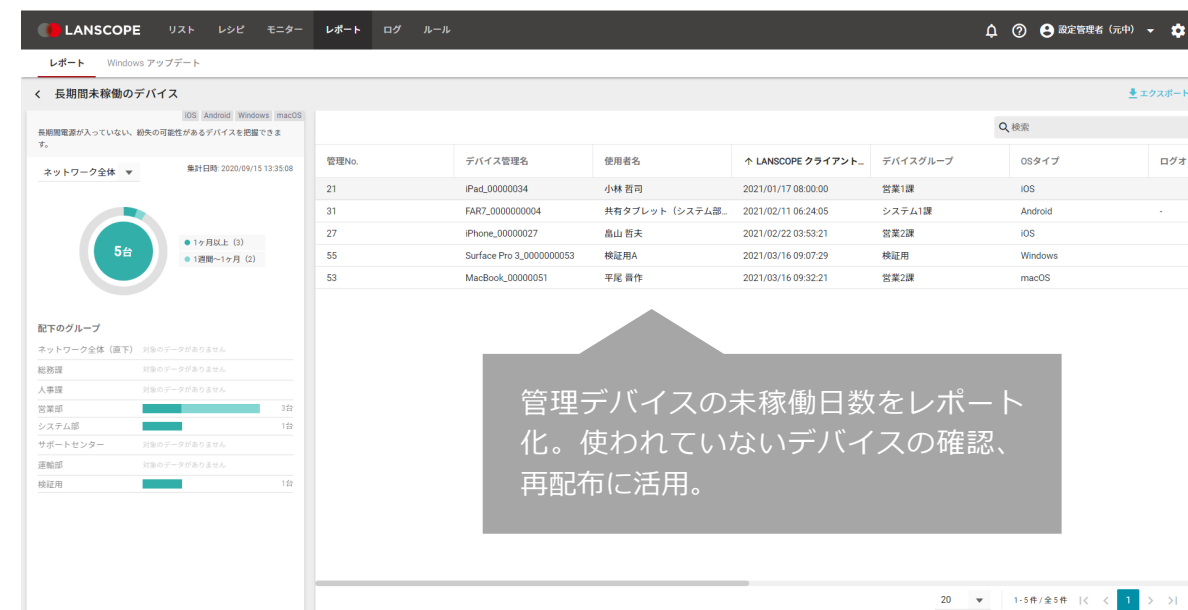
フィーチャーフォンの契約期間がまだ残っていたため、iPhone ではなく iPad を試験導入。営業担当者が外出先でメールやグループウェアの確認に活用。キャリア混在の場合でもまとめて管理できる点に惹かれ、導入しました。

— 文字数や有効期限などパスコードポリシーを一斉適用

万が一の紛失時にリモートロックを実行できるようにパスコードポリシーを一斉にデバイスに適用しています。さらに設定したパスコードを忘れた際には、遠隔からパスコードオフを実行できるので、助かっています。

— 週に1回 稼働レポートを確認、未稼働デバイスは現在、ゼロ！

運用フローとして、3日に1回は稼働状況レポートを確認。未稼働デバイスを発見した際には、該当社員の勤怠状況を確認した上で、利用状況を確認。配布当初は未稼働デバイスも数台ありましたが、最近はほとんどなく運用も簡単です。



デバイス数 200 台

管理 OS iOS

自社開発の「見積書・発注書作成アプリ」を営業担当者の iPad に一斉配信

iPad の導入にあわせMDMを3製品検討しました。体験版などを使い、操作性や機能を検証。iPad を配布する営業担当者の行動も確認したかったので、エンドポイントマネージャーの移動履歴機能が魅力的でした。

— 営業担当者の移動履歴を確認、行動管理＋紛失対策に活用

30分の定期間隔で営業担当者の位置情報を取得しています。1ヶ月に1回、移動履歴データをエクスポートし、長時間同じ場所に止まっていないかなど確認しています。さらに紛失デバイスの手がかりとしても役立ちます。

— 万が一、紛失した際も遠隔でデータ初期化を実行

iPad の活用を促進するため、見積書や発注書をタブレット上で作成できるアプリを自社で開発しました。このアプリをエンドポイントマネージャーから配信できるので、管理の手間も削減でき助かっています。

デバイス数 25 台

管理 OS iOS



店舗用の Android タブレットや「投資運用アプリ」の活用状況をレポートで分析

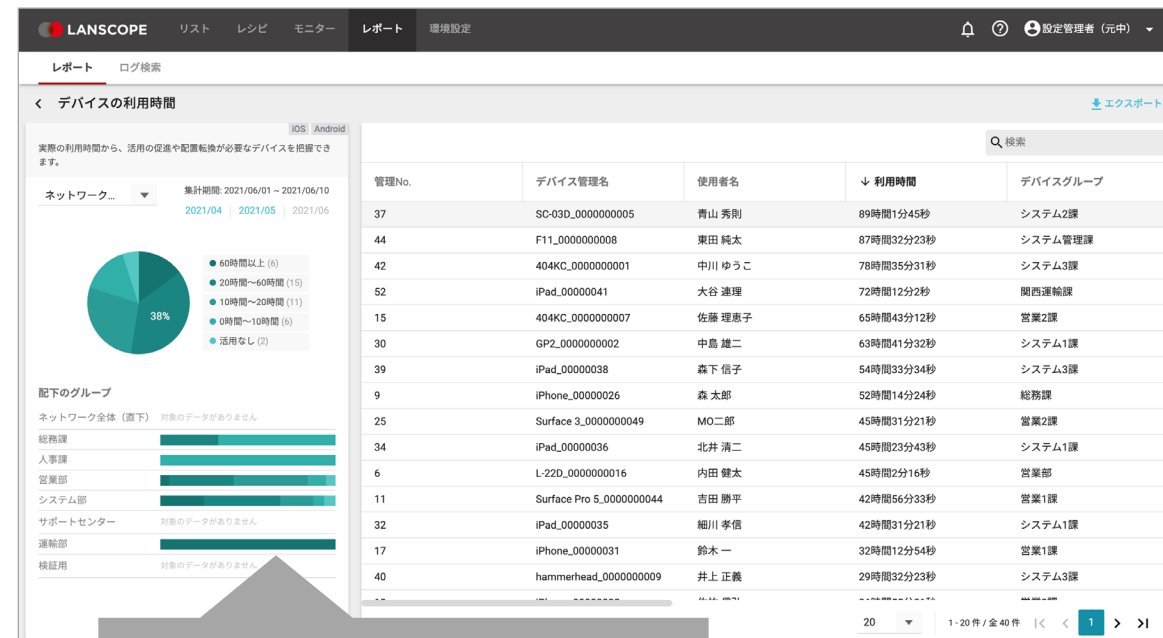
サービスを案内するための店舗設置用と営業担当者が、客先訪問する際に活用するためのタブレットを導入。まずは20台から試験導入しタブレットの費用対効果を検証するために操作ログを取得できるエンドポイントマネージャーを採用。

— タブレットとアプリの活用状況を定期的に確認し効果検証

導入したタブレットの利用状況をレポートで確認。さらに自社で開発した投資運用アプリの活用回数、活用時間も確認。客観的な数値データとして活用状況を確認できるので、費用対効果の検証に助かっています。

— 活用時間は、1日平均50分/台！20台から200台へ本格導入

エンドポイントマネージャーのデバイス活用レポートから店舗用タブレットの「平均活用時間 1日50分」であると判明し、試験導入期間のこの結果をもとに、全店舗への本格導入を実施。20台から200台に拡大後も月に1回、デバイス活用レポートを確認し報告しています。



デバイスが1ヶ月でどれくらい活用されているのか、グループ別・デバイス別に目で把握できます。

デバイス数 200 台

管理 OS Android

エンドポイントマネージャーで PC・モバイルを一元管理！

MDM で PCとモバイル管理を行っていましたが、一部の部署でテレワークを導入したことで、働き方の可視化が必要になりました。利用していた MDM では操作ログが取得できず、PC・モバイルを一元管理できることを条件として、その結果エンドポイントマネージャーを採用しました。

ー 操作ログを取得し、テレワークデバイスの PC 利用状況の見える化

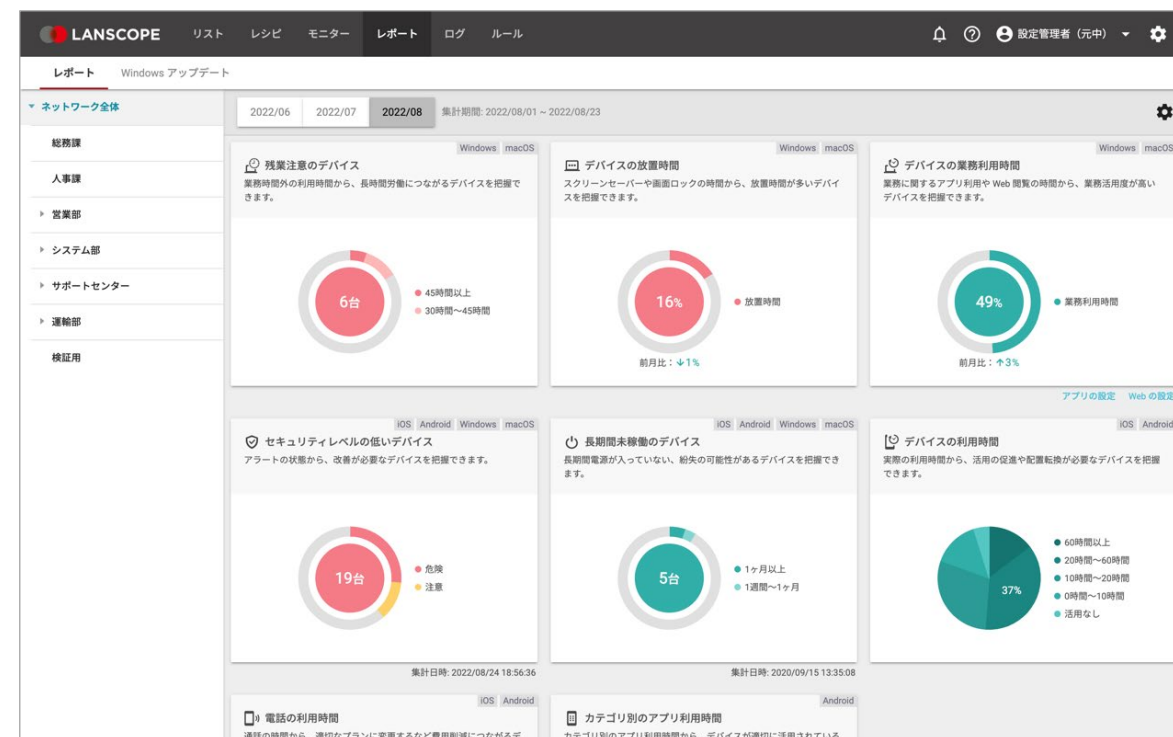
テレワークを導入する際、仕事とプライベートの区別が付けられるか議論になりましたが、基本的には「性善説」にたって導入を検討しようとなりました。とはいえ、仕事をしている姿が見えないことは不安でしたので、操作ログの取得は Must と考えました。今後、取得した操作ログのレポート機能は、部長以上の責任者にアカウントを付与し、マネジメントに活かしてもらおうと思っています。

ー iOS の資産管理・紛失対策も実現、ABM 利用も視野に

Windows PC と同じ画面で iPhone の資産管理を実現できる点は素晴らしいと感じました。これまではツールは入れていましたが、結局、資産棚卸しの際は別途用意した EXCEL を利用していました。エンドポイントマネージャー導入後は EXCEL 運用を脱却できました。今後、機種変更のタイミングで Apple Business Manager も利用してより幅広い管理を行っていこうと考えています。

デバイス数 580 台

管理 OS iOS・Windows



iPhone 400台のキッティングを2週間で！ 情シス・総務部 1名ずつで分散管理

iPhone を既に配布していたため、MDMのインストール方法に困っていましたが、エンドポイントマネージャーは、メールでインストールに必要な情報を通知できるので、約2週間で400台へのインストール作業が完了しました。

－ 導入目的は「紛失対策」、運用ルールを整備

社員から紛失報告があった際は、まずリモートロックを実行しデバイスにメッセージを表示。検索期間 2日間経過後もデバイスを発見できない際は、リモートワイプを実行しデバイスを初期化するというルールを敷いています。また、紛失の事前対策としてパスコードポリシーを設定。パスコードの入力に10回連続失敗時には初期化、パスコードは数ヶ月に1度変更するなどのポリシーを設定しています。

－ 分散管理を実現、総務部では資産管理機能を活用

情報システム部では、デバイスのセキュリティ対策・紛失対策機能を活用。一方、総務部では約400台のデバイス情報の管理、利用者情報の把握に資産管理機能を活用し、管理工数の削減を実現しています。

デバイス数 400 台

管理 OS iOS



ロック画面にメッセージと電話番号を表示。拾った人に紛失デバイスであることに気がついてもらえます！

店舗用iPad（Wi-Fiモデル）と会議用 iPadのアプリ管理・持ち出し対策に活用

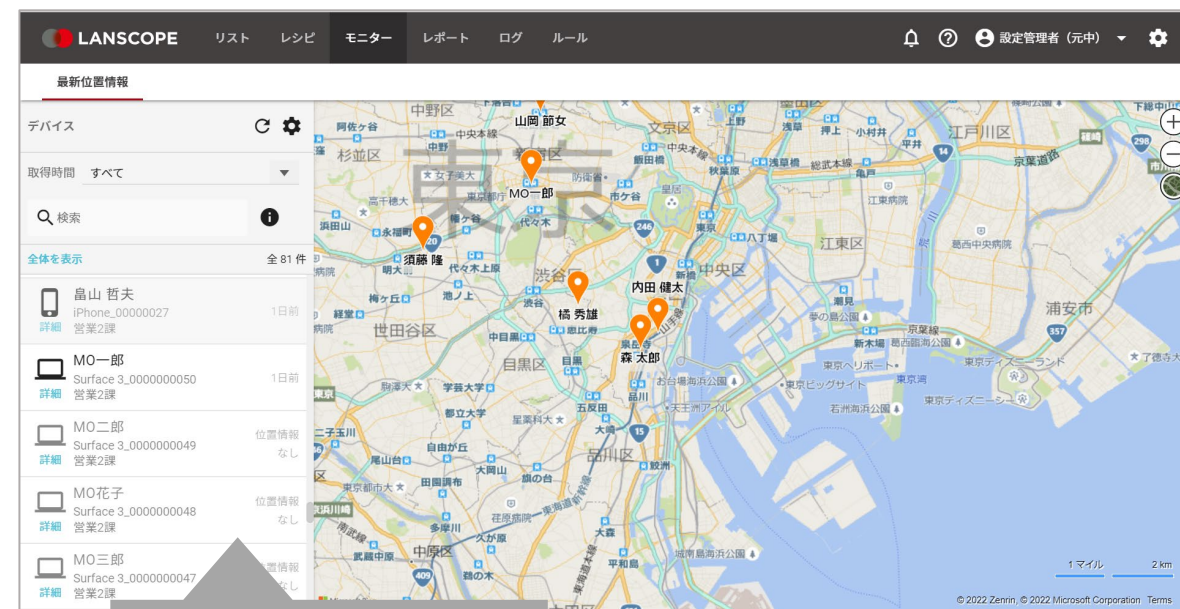
お客様への商品案内用にiPad（Wi-Fiモデル）を店頭に置き商品カタログを閲覧できるようにしています。さらに別途、会議用のiPadも導入していたため Wi-Fi モデルとまとめて管理できるエンドポイントマネージャーを導入しました。

— アプリは申請制！ホワイトリスト管理で運用

お客様への提案用のタブレットのため、基本的にアプリのインストールは会社のルールとして禁止。利用したいアプリがある場合は事前に申請し承認したもののみ利用できるホワイトリスト運用でアプリを配信。

— 店舗からの持ち出しや万が一の紛失に位置情報を活用

iPad には1台ずつ管理番号を割り振り管理しています。定期的に最新位置情報画面にてiPad の所在確認し、店舗からの持ち出しや紛失が起きていないかを確認をしています。また利用されていないデバイスが無い、故障してしまいそのまま放置されていないか、3日連続で稼働が無いデバイスをアラートに設定し、メールで通知する設定を行っています。



1画面で最大100台まで最新の位置情報を同時に確認できます。

デバイス数 130 台

管理 OS iOS

PC・モバイルで別れていた管理ツールを エンドポイントマネージャーに統合！

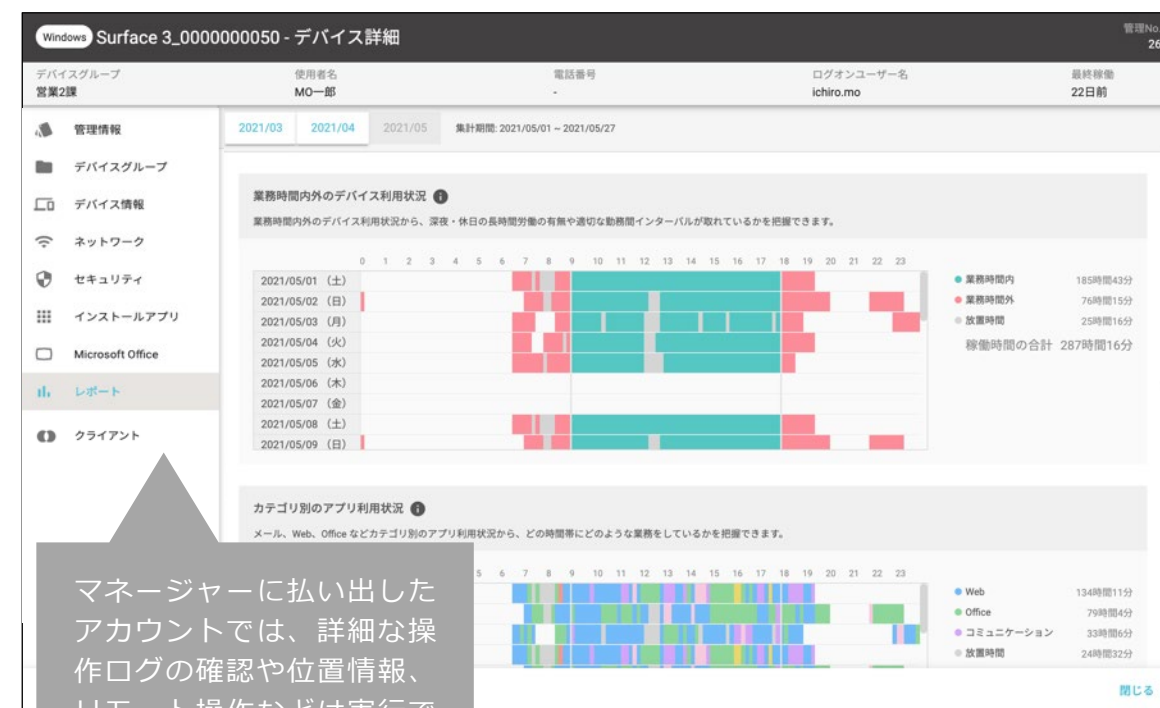
これまで PC 管理はオンプレミス、iPhone はキャリアの MDM で管理していました。資産棚卸しは PC もスマホも同じタイミングで行っており、管理工数の削減から、ツールを統合したいと考え、エンドポイントマネージャーを採用しました。

— マネージャーにレポート閲覧のアカウントを付与して、マネジメントに活用

業務時間内外のデバイスの利用状況を見える化できる個人レポートは、マネージャーが確認できるよう管理コンソールのアカウントを付与して、申請外の残業がないか、休憩は適切に取れているか、現状把握と対策が取れる体制を取っています。

— PC・スマホの資産棚卸しの効率化

年に2回、PCの・スマホの資産棚卸しを行い、どの部署の、誰が、利用しているかをチェックし、情報をエンドポイントマネージャーの管理コンソールに登録しています。前回の棚卸し情報も合わせて確認できるので、EXCEL などの他のツールに頼ることなく、エンドポイントマネージャーで業務を完結できています。



マネージャーに払い出したアカウントでは、詳細な操作ログの確認や位置情報、リモート操作などは実行できない

デバイス数 400 台

管理 OS iOS・Windows

ドライバーの移動状況を簡単チェック！ お客様からの問い合わせ対応にも利用

以前は他社MDM製品を利用していましたが、管理コンソールが使いづらく、MDMの運用自体に時間がかかっていました。そこで管理コンソールが直感的で使いやすいエンドポイントマネージャーへの移行を決めました。

ー 移動履歴は、問い合わせ対応時にも活用

ドライバーの移動状況をエンドポイントマネージャーで確認しています。弊社への問い合わせで、走行マナーが悪いとクレームがあった際には、問い合わせ時刻から位置情報を確認し、ドライバーの特定に活用しています。

ー 位置情報サービス OFF デバイスはアラート検知し注意

位置情報を安定して取得できるようにドライバーには Android スマホの位置情報サービスをONにするようにアナウンスしています。万が一、OFFになっているデバイスがあった際も ON にするようデバイスにアラートを表示するようポリシーの設定を行っています。



位置情報モードが無効の場合は、有効にするよう警告表示が可能！

デバイス数 360 台

管理 OS Android

私的利用をメールや掲示板で社内通知！ ログの抑止効果で「違反操作ゼロ」を実現

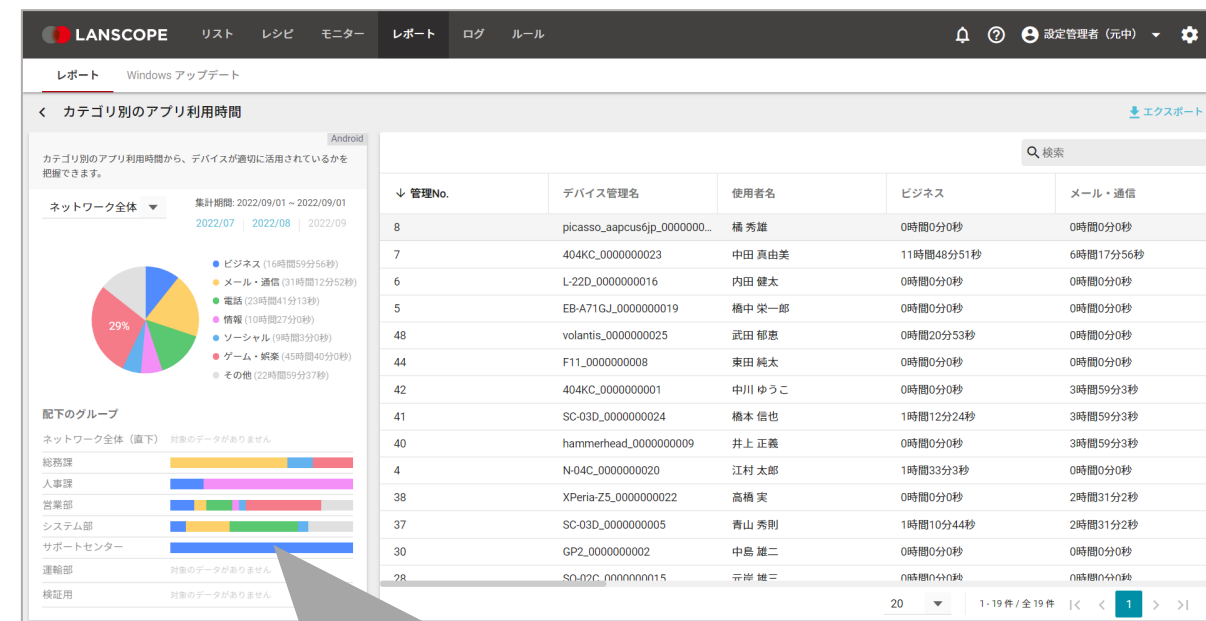
フィーチャーフォンからスマホに移行する際に管理者として心配したのが私的利用。エンドポイントマネージャーなら Android デバイスの操作ログを取得できると聞き、iPhoneではなくAndroid スマホの導入を決めました。

ー 操作ログを活用し私的利用を制御、インシデントを未然に対策

貸与したスマホは自由に利用してもらっていますが、代わりに操作ログを1ヶ月に1回確認しています。ゲームアプリの利用などを発見した際は「〇部署の方が〇な操作を行いインシデントになりました」などと社内通知をすることで、抑止効果につながり私的利用はほぼゼロになっています。

ー 5 拠点それぞれで管理アカウントを設置し、分散管理を実現！

拠点ごとにエンドポイントマネージャーの管理コンソールにログインできる管理アカウントを作成し、分散管理を実現しています。基本的に拠点用のアカウントでは、その拠点の管理デバイスの情報しか閲覧できないように運用しています



アプリの利用状況をカテゴリ単位でレポート化。ひと目で利用状況を把握できます。

デバイス数 170 台

管理 OS Android

訪問介護スタッフや営業のタブレットを一括管理！ 半年1回の棚卸しに役立つ資産台帳

データの閲覧用にAndroidタブレットを訪問介護スタッフに配布。さらに営業スタッフには、製品カタログの閲覧やメール確認の用途でiPadを配布。iOS、Android混在でも簡単に管理ができるエンドポイントマネージャーを導入しました。

— タブレットの操作内容は万が一の証跡として安心

訪問介護スタッフは、1日のほとんどを訪問先で過ごすため管理の目が行き届かず、セキュリティ面など心配していましたが、エンドポイントマネージャーで操作ログを取得できるので、業務外操作の抑止効果や証跡として活用できるので安心です。

— iPad・Androidタブレットの情報をまとめて表示

スタッフの異動は頻繁に起こりますが、デバイス情報一覧でタブレットの利用者の名前を簡単に検索し、変更もできるので管理もスムーズです。iOS、Android の情報をまとめて確認できる資産台帳は、半年に1回の棚卸しの際に便利です。

LANSCOPE リスト レンビ モニター レポート ログ ルール									
デバイス アプリ プロファイル アラート									
ネットワーク全体 iOS Android Windows macOS									
デバイスの追加 インストール待ちデバイス									
☐	管理...	デバイスグループ	使用人名	OSタイプ	OSバージョン	電話番号	シリアル番号	デバイス管理名	LANSCOPE クライア
☐	1	総務課	江藤 花子	Android		090xxxxxxx	07bc78ce	SC-03D_0000000014	2022/08/24 09:30:35
☐	2	総務課	六角 富夫	Android		090xxxxxxx	07bc79ce	hammerhead_0000000059	2022/08/24 09:30:35
☐	3	営業1課	飯田 育三	iOS		080xxxxxxx	77WW8C9CA28	iPhone_0000000028	2022/08/24 12:32:30
☐	4	人事課	江村 太郎	Android		080xxxxxxx	07bc80ce	N-04C_0000000020	2022/08/24 10:17:06
☐	5	営業部	橋中 栄一郎	Android		080xxxxxxx	07bc81ce	EB-A71GJ_0000000019	2022/08/24 04:25:31
☐	6	営業部	内田 健太	Android		080xxxxxxx	07bc76ce	L-22D_0000000016	2022/08/20 08:49:54
☐	7	営業1課	中田 真由美	Android		080xxxxxxx	FE1WRO7HA9EV	404KC_0000000023	2022/08/24 05:17:55
☐	8	営業1課	橋 秀雄	Android		090xxxxxxx	N3HXEFPWU9W	picasso_aapcus6jp_0000000...	2022/08/24 04:51:57
☐	9	総務課	森 太郎	iOS		080xxxxxxx	77WW8C9CA26	iPhone_0000000026	2022/08/24 11:24:53
☐	10	営業1課	別所 哲郎	iOS		080xxxxxxx	77WW8C9CA29	iPhone_0000000029	2022/08/24 03:10:04
☐	11	営業1課	吉田 勝平	Windows	Windows 10 Pro 10.0.1...	090xxxxxxx	DemoSerialNumber_00001	Surface Pro 5_0000000044	2022/08/24 08:23:27
☐	12	営業1課	加藤 信也	Windows	Windows 10 Pro 10.0.1...	090xxxxxxx	DemoSerialNumber_00002	Surface Pro 5_0000000045	2022/08/24 08:23:25
☐	13	営業1課	石井 健二	Android		080xxxxxxx	FE1WRO7HA9EV	404KC_0000000023	2022/08/24 05:17:55
☐	14	営業2課	平尾 晋作	Android		080xxxxxxx	07bc82ce	404KC_0000000018	2022/08/24 10:38:41
☐	15	営業2課	佐藤 理恵子	Android		080xxxxxxx	07bc83ce	404KC_0000000007	2022/08/24 05:03:03

OSタイプ、OSバージョンなどの情報を自動取得し、必要な情報を一覧で表示

デバイス数 170 台

管理 OS iOS・Android

貸与したiPadの可視化だけではなく、 セキュリティの向上も実現！

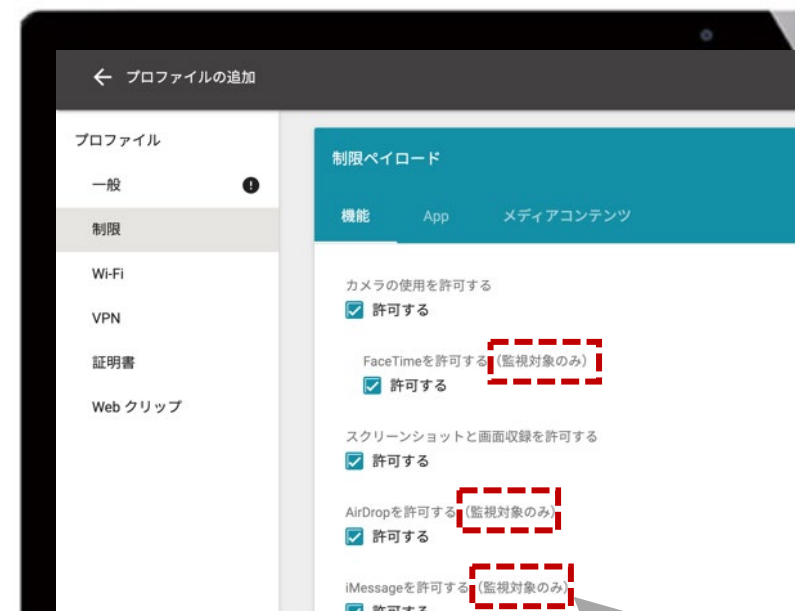
iPadの利用を限定するために、DEP と VPP の利用は必須と考えていました。体験版を利用して、問題なくすんなりと設定も完了できたこと、製品版にそのまま移行できること、また管理コンソールも使いやすさを感じれたので導入を決めました。

— App Storeを禁止して業務アプリのみインストール！

iPad の利用を限定するために、DEP を利用し監視モードに適用しています。加えて、VPP アプリ配信機能を利用することで、App Store を禁止して必要なアプリのみ iPad にインストールしてもらっています。

— 定期的に稼働レポートを確認し、iPadの活用状況を可視化

公務用 iPad の配布を検討した際に、本当に活用できているか可視化の必要性がありました。エンドポイントマネージャーで未稼働デバイスを確認し、該当する職員に注意喚起することで、今では積極的に活用できております。



デバイス数 170 台

管理 OS iOS

60日間無料で体験できます！

体験版を利用したお客様の7割が製品版をご導入いただいています



設定したポリシーや取得した情報をそのまま製品版へデータ引き継ぎが可能です

LANSCOPE エンドポイントマネージャクラウド版の体験版は 60日間たっぷり利用できます。十分に機能を検証していただき、ご検討ください。設定したポリシーや取得した情報を含め、そのまま製品版へのデータ引き継ぎが可能です。

また体験版利用中も、弊社サポートセンターにお電話やメールで問い合わせが可能。マニュアルやオンラインで学べるトレーニング動画も公開しています。



製品に関するお問い合わせ

■ 営業本部

大阪本社 06-6308-8980
東京本部 03-5460-0775
名古屋支店 052-253-7346
九州営業所 092-419-2390
E-mail sales@motex.co.jp

ご購入後の製品利用に関するお問い合わせ

サポートセンター 0120-968995（携帯・PHSからは06-6308-8981）
お電話受付時間 9:30～12:00/13:00～17:30（平日、祝祭日除く）
E-mail お問い合わせ support@motex.co.jp